

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信託期間	約15年1カ月間（2013年8月22日～2028年9月15日）	
運用方針	配当利回りを重視した運用により信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）および米国の店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下「不動産投資信託証券」といいます。）
マザーファンドの運用方法	①主として米国の金融商品取引所上場および米国の店頭登録の不動産投資信託証券に投資し、ベンチマーク（FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス（配当金込み、円ベース指数））を中長期的に上回ることをめざして運用を行ないます。 ※当該指数は、FTSE International Limitedが発表する配当金込みの米ドルベース指数から、委託会社が円ベースに換算した指数とします。 ②投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。 イ. 米ドル建資産のポートフォリオの配当利回りが、市場平均以上となることをめざします。 ※市場平均とはFTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス（配当金込み、米ドルベース指数）の配当利回りを指すものとします。 ロ. ファンダメンタルズ分析を行ない、安定的な配当が見込める銘柄を選定します。 ハ. ポートフォリオの構築にあたっては、セクターおよび地域の配分を考慮します。 ③米ドル建資産の運用にあたっては、コーヘン＆ステイアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。	
	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
組入制限	マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	
分配方針		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・US－REIT・オープン
（年1回決算型）為替ヘッジなし

運用報告書（全体版）
第3期
（決算日 2016年9月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ダイワ・US－REIT・オープン（年1回決算型）為替ヘッジなし」は、このたび、第3期の決算を行ないました。
ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSE NAREIT®エクイティ REIT・インデックス (配当金込み、円ベース指数) (ベンチマーク)		投資信託証券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率		
1 期 末 (2014年 9月17日)	円 12,733	円 0	% 27.3	13,043	% 30.4	% 97.6	百万円 1,350
2 期 末 (2015年 9月17日)	15,204	0	19.4	15,626	19.8	97.4	2,046
3 期 末 (2016年 9月20日)	15,135	0	△ 0.5	15,762	0.9	96.3	2,185

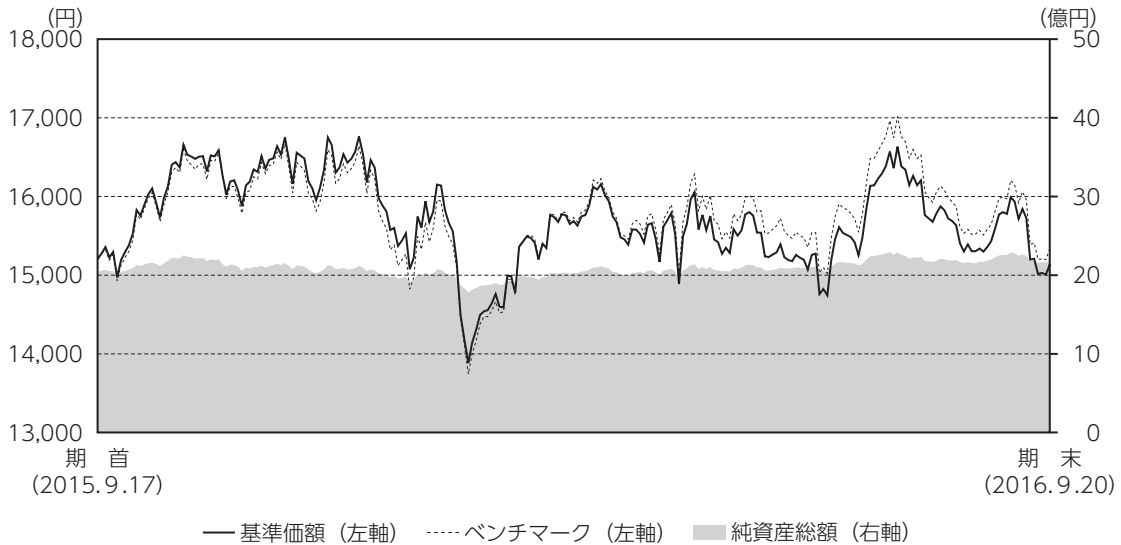
(注1) FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス（配当金込み、円ベース指数）は、FTSE International Limitedが発表するFTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス（配当金込み、米ドルベース指数）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*ベンチマークはF T S E N A R E I T ®エクイティR E I T ・インデックス（配当金込み、円ベース指数）です。

■基準価額・騰落率

期 首：15,204円

期 末：15,135円

騰落率：△0.5%

■基準価額の主な変動要因

投資家が利回り資産としてのリートを物色する動きが強まったことなどを背景に、米国リート市況が堅調に推移したことがプラス要因となりましたが、日銀の追加緩和見送りなどを背景に円高となったことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		FTSE NAREIT®エクイティ REIT・インデックス (配当金込み、円ベース指数)		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率	
	円	%		%	%
(期首) 2015年 9 月17日	15,204	－	15,626	－	97.4
9 月末	15,192	△ 0.1	15,544	△0.5	97.7
10月末	16,512	8.6	16,868	7.9	96.9
11月末	16,639	9.4	17,026	9.0	97.5
12月末	16,762	10.2	17,107	9.5	96.5
2016年 1 月末	15,808	4.0	16,025	2.6	96.7
2 月末	14,987	△ 1.4	15,357	△1.7	96.0
3 月末	16,088	5.8	16,616	6.3	97.3
4 月末	15,522	2.1	16,085	2.9	96.7
5 月末	15,801	3.9	16,462	5.3	97.6
6 月末	15,458	1.7	16,176	3.5	96.9
7 月末	16,262	7.0	17,058	9.2	97.0
8 月末	15,770	3.7	16,421	5.1	96.8
(期末) 2016年 9 月20日	15,135	△ 0.5	15,762	0.9	96.3

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。期首より、利上げ懸念や中国経済の減速懸念から軟調な推移が続きましたが、2016年2月半ば以降は、主要リートの好業績や投資家が低金利環境下で利回り指向を強めたことが相場の支援材料となり、リート市況は反発し上昇基調に転じました。しかし期末にかけては、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）高官の発言を受け利上げ前倒しの思惑が強まったことや、それによる長期金利の上昇を背景に、やや調整色を強めました。

用途別では、賃貸契約が長くキャッシュフローの安定性が期待されるその他商業施設セクターが堅調に推移したほか、電子商取引の成長などを背景に需給環境の良好な産業施設セクターのパフォーマンスが好調でした。一方、一部主要都市の客室料金の不振を背景に業績見通しの不透明感が高まったホテル／リゾートセクターが軟調に推移しました。

○為替相場

為替相場は、米国の今後の利上げペースが鈍化するとの見方や、中国の景気減速に対する懸念が深まる中で市場のリスク回避姿勢が強まったこと、日銀の追加緩和見送りなどを背景に、対米ドルで円高傾向での推移となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

主要投資対象である「ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

○ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド

ポートフォリオ全体の方針は、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざしており、現在は財務体質が良好で割安感のある大型リートが有望であるとみています。また、外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン＆スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク（以下、Ｃ＆Ｓ）に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なっております。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要投資対象である「ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

○ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド

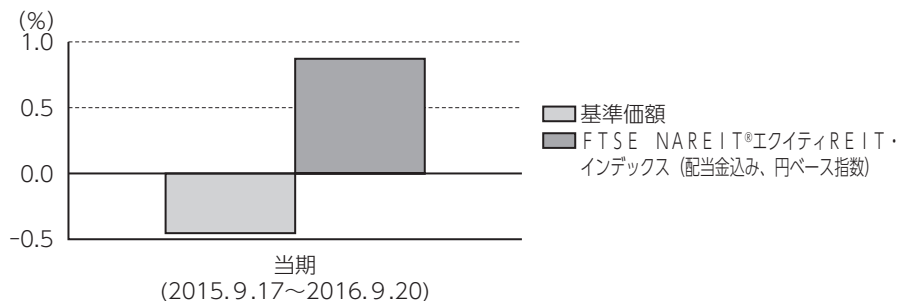
主として米国の金融商品取引所上場および米国の店頭登録のリートに投資し、ベンチマーク（ＦＴＳＥ ＮＡＲＥＩＴ®エクイティＲＥＩＴ・インデックス（配当金込み、円ベース指数））を中長期的に上回ることをめざして運用を行ないました。また、外貨建資産の運用にあたっては、Ｃ＆Ｓに運用の指図にかかる権限を委託し、保有不動産の価値などと比較して魅力的であると判断される銘柄を中心に分散投資を行ないました。個別銘柄の入れ替えについては、Ｃ＆Ｓが独自の評価方法によって割安と判断した銘柄を組み入れ、割高と判断した銘柄を売却しました。

ベンチマークとの差異について

当期のベンチマーク（ＦＴＳＥ ＮＡＲＥＩＴ®エクイティＲＥＩＴ・インデックス（配当金込み、円ベース指数））の騰落率は0.9%となりました。一方、当ファンドの騰落率は△0.5%となりました。

業種比率では、ホテル／リゾートセクターのアンダーウエートがプラス要因となりましたが、産業施設セクターのアンダーウエートがマイナス要因となりました。銘柄選択は、その他商業施設セクターがプラス要因となりましたが、ヘルスケアセクターがマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

長期投資の観点から、当期の分配は見送りました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項 目		当 期
		2015年9月18日 ～2016年9月20日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,135

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主要投資対象である「ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

○ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド

ポートフォリオ全体の方針は、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざしており、現在は財務体質が良好で割安感のある大型リートが有望であるとみています。また、外貨建資産の運用にあたっては、Ｃ＆Ｓに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.9.18～2016.9.20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	250円	1.589%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,710円です。
（投信会社）	(121)	(0.773)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(121)	(0.773)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受託銀行）	(7)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	9	0.058	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(9)	(0.058)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
その他費用	5	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(2)	(0.014)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	264	1.682	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月18日から2016年9月20日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンド	181,363	489,590	136,541	377,068

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年9月18日から2016年9月20日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	399,156	—	—	299,976	—	—
為替予約	88,890	2,023	2.3	2,058	—	—
コール・ローン	634,294	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンド	780,459	825,281	2,177,752

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンド	2,177,752	98.8
コール・ローン等、その他	26,412	1.2
投資信託財産総額	2,204,164	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝101.95円です。

(注3) ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（675,720,636千円）の投資信託財産総額（685,840,933千円）に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,204,164,925円
コール・ローン等	26,412,507
ダイワ・US－REIT・オープン・マザーファンド(評価額)	2,177,752,418
(B) 負債	18,445,846
未払解約金	1,271,702
未払信託報酬	17,115,624
その他未払費用	58,520
(C) 純資産総額(A－B)	2,185,719,079
元本	1,444,109,847
次期繰越損益金	741,609,232
(D) 受益権総口数	1,444,109,847口
1万口当り基準価額(C／D)	15,135円

*期首における元本額は1,345,695,357円、当期中における追加設定元本額は476,204,943円、同解約元本額は377,790,453円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,135円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月18日 至2016年9月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	434円
受取利息	4,422
支払利息	△ 3,988
(B) 有価証券売買損益	2,347,537
売買益	30,377,294
売買損	△ 28,029,757
(C) 信託報酬等	△ 33,339,126
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 30,991,155
(E) 前期繰越損益金	79,749,407
(F) 追加信託差損益金	692,850,980
(配当等相当額)	(121,454,628)
(売買損益相当額)	(571,396,352)
(G) 合計(D + E + F)	741,609,232
次期繰越損益金(G)	741,609,232
追加信託差損益金	692,850,980
(配当等相当額)	(121,454,628)
(売買損益相当額)	(571,396,352)
分配準備積立金	79,749,407
繰越損益金	△ 30,991,155

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：5,266,216円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	661,859,825
(d) 分配準備積立金	79,749,407
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	741,609,232
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e − f)	741,609,232
(h) 受益権総口数	1,444,109,847口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

FTSE®はthe London Stock Exchange Group companiesの商標であり、ライセンス契約に基づきFTSE International Limitedが使用致します。また、FTSE®、FOOTSE®、およびFTSE 4GOOD®もまたthe London Stock Exchange Group companiesの商標です。NAREIT®はthe National Association of Real Estate Investment Trustsの商標であり、EPRA®はEuropean Public Real Estate Associationの商標ですが、いずれもライセンス契約に基づきFTSE International Limitedが使用致します。FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックスはFTSEによって計算されます。FTSE、Euronext N.V.、NAREITおよびEPRAは、この商品に関する保証、承認、販売促進を一切行わず、いかなる場合においてもそれに関与することなく、一切の責務を負いません。当該インデックスの指数値や構成銘柄に関するすべての知的所有権は、FTSE、Euronext N.V.、NAREIT、EPRAに帰属します。FTSEおよびそのライセンサーはいずれも、インデックスやレーティング、またその元データに関する瑕疵や不作為に対して一切の責務を負いません。また、FTSEから書面による許可を得ることなく、FTSEのデータを再配信することは許されておられません。

ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンド

運用報告書 第25期（決算日 2016年9月20日）

（計算期間 2016年3月18日～2016年9月20日）

ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン・マザーファンドの第25期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

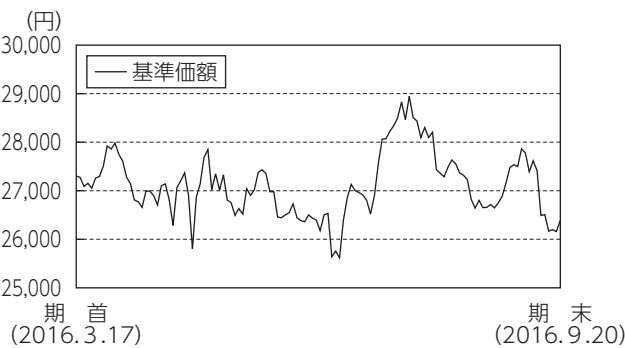
運 用 方 針	配当利回りを重視した運用により信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	米国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）および米国の店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下「不動産投資信託証券」といいます。）
運 用 方 法	①主として米国の金融商品取引所上場および米国の店頭登録の不動産投資信託証券に投資し、ベンチマーク（ＦＴＳＥ ＮＡＲＥＩＴ[®]エクイティＲＥＩＴ・インデックス（配当金込み、円ベース指数））を中長期的に上回ることをめざして運用を行ないます。 ※当該指数は、ＦＴＳＥ International Limitedが発表する配当金込みの米ドルベース指数から、当社が円ベースに換算した指数とします。 ②投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。 イ. 米ドル建資産のポートフォリオの配当利回りが、市場平均以上となることをめざします。 ※市場平均とはＦＴＳＥ ＮＡＲＥＩＴ[®]エクイティＲＥＩＴ・インデックス（配当金込み、米ドルベース指数）の配当利回りを指すものとします。 ロ. ファンダメンタルズ分析を行ない、安定的な配当が見込める銘柄を選定します。 ハ. ポートフォリオの構築にあたっては、セクターおよび地域の配分を考慮します。 ③米ドル建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。
投 資 信 託 証 券 組 入 制 限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSE NAREIT® エクイティREIT・ インデックス (配当金込み、円ベース指数)		投資信託証券 組入比率
	円	騰 落 率 (ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首)2016年3月17日	27,301	—	29,509	—	96.8
3月末	27,860	2.0	30,180	2.3	97.7
4月末	26,907	△1.4	29,217	△1.0	97.1
5月末	27,431	0.5	29,901	1.3	97.9
6月末	26,865	△1.6	29,381	△0.4	97.2
7月末	28,302	3.7	30,984	5.0	97.2
8月末	27,479	0.7	29,827	1.1	97.1
(期末)2016年9月20日	26,388	△3.3	28,630	△3.0	96.7

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス (配当金込み、円ベース指数) は、FTSE International Limitedが発表するFTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス (配当金込み、米ドルベース指数) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：27,301円 期末：26,388円 騰落率：△3.3%
【基準価額の主な変動要因】

投資家が利回り資産としてのリートを物色する動きが強まったことなどを背景に、米国リート市況が堅調に推移したことがプラス要因となりましたが、日銀の追加緩和見送りなどを背景に円高となったことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。主要リートの好業績や投資家が利回り資産としてのリートを物色する動きが強まったことが相場の支援材料となりましたが、期末にかけては、FRB (米国連邦準備制度理事会) 高官の発言を受け利上げ前倒しの思惑が強まったことや、それによる長期金利の上昇を背景に調整色を強めました。

用途別では、郊外における賃貸需要の高まりを背景に戸建住宅セクターが堅調に推移したほか、電子商取引の成長などを背景に需給環境の良好な産業施設セクターのパフォーマンスが好調でした。一方、倉庫セクターが軟調に推移しました。物件供給の増加などを背景にこれまでの高成長にやや陰りの見えてきていることが嫌気されました。

○為替相場

為替相場は、日銀の追加緩和見送りなどを背景に、対米ドルで円高傾向での推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

ポートフォリオ全体の方針は、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざしており、現在は財務体質が良好で割安感のある大型リートが有望であるとみています。また、外貨建資産の運用にあたっては、コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク (以下、C&S) に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

主として米国の金融商品取引所上場および米国の店頭登録のリートに投資し、ベンチマーク (FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス (配当金込み、円ベース指数)) を中長期的に上回ることをめざして運用を行ないました。また、外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託し、保有不動産の価値などと比較して魅力的であると判断される銘柄を中心に分散投資を行ないました。個別銘柄の入れ替えについては、C&Sが独自の評価方法によって割安と判断した銘柄を組み入れ、割高と判断した銘柄を売却しました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は△3.0%となりました。一方、当ファンドの騰落率は△3.3%となりました。
業種比率では、ホテル/リゾートセクターのアンダーウエートがプラス要因となりましたが、産業施設セクターのアンダーウエートがマイナス要因となりました。銘柄選択は、オフィスセクターやその他商業施設セクターがプラス要因となりましたが、ヘルスケアセクターがマイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

ポートフォリオ全体の方針は、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざしており、現在は財務体質が良好で割安感のある大型リートが有望であるとみています。また、外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	8円 (8)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	2 (2)
合 計	11

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
投資信託証券

(2016年 3 月 18 日から 2016 年 9 月 20 日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
		57,059.042 (-)	2,206,151 (-)	34,359.974 (-)	1,656,486 (-)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
投資信託証券

(2016年 3 月 18 日から 2016 年 9 月 20 日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
PROLOGIS INC (アメリカ)	5,591.275	28,259,989	5,054	EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	3,134.942	22,973,898	7,328
CAMDEN PROPERTY TRUST (アメリカ)	1,903.442	17,477,467	9,182	PUBLIC STORAGE (アメリカ)	741.863	19,299,183	26,014
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT (アメリカ)	1,309.415	13,764,830	10,512	VORNADO REALTY TRUST (アメリカ)	1,798.685	18,249,041	10,145
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	4,512.278	12,543,591	2,779	WELLTOWER INC (アメリカ)	2,245.604	17,096,960	7,613
HOST HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)	6,604.514	11,768,186	1,781	GENERAL GROWTH PROPERTIES (アメリカ)	3,567.092	11,068,478	3,102
SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	529.455	11,687,383	22,074	MACERICH CO/THE (アメリカ)	1,194.86	10,380,895	8,687
AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES (アメリカ)	2,076.838	10,696,660	5,150	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS (アメリカ)	2,335.732	8,517,402	3,646
GENERAL GROWTH PROPERTIES (アメリカ)	3,456.19	10,274,353	2,972	HOST HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)	4,018.119	6,891,512	1,715
CROWN CASTLE INTL CORP (アメリカ)	1,040.525	10,151,138	9,755	CUBESMART (アメリカ)	2,216.335	6,616,361	2,985
VENTAS INC (アメリカ)	1,248.573	8,662,141	6,937	DCT INDUSTRIAL TRUST INC (アメリカ)	1,460.761	6,487,394	4,441

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	687,370,033,922円
コール・ローン等	21,077,087,993
投資信託証券(評価額)	656,685,026,347
未収入金	8,789,167,740
未収配当金	818,751,842
(B) 負債	8,130,959,987
未払金	8,130,959,987
(C) 純資産総額(A－B)	679,239,073,935
元本	257,405,657,917
次期繰越損益金	421,833,416,018
(D) 受益権総口数	257,405,657,917口
1万口当り基準価額(C／D)	26,388円

*期首における元本額は238,191,977,537円、当期中における追加設定元本額は20,533,902,404円、同解約元本額は1,320,222,024円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ａコース（為替ヘッジあり）3,112,771,775円、ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ｂコース（為替ヘッジなし）252,242,296,224円、ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（年1回決算型）為替ヘッジなし825,281,347円、ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（年1回決算型）為替ヘッジあり20,269,215円、ダイワ米国リート・ファンドⅡ（年1回決算型）1,205,039,356円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は26,388円です。

■損益の状況

当期 自2016年3月18日 至2016年9月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,699,281,278円
受取配当金	9,699,943,169
受取利息	341
その他収益金	24,371
支払利息	△ 686,603
(B) 有価証券売買損益	△ 32,589,998,008
売買益	47,587,411,399
売買損	△ 80,177,409,407
(C) その他費用	△ 49,553,737
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 22,940,270,467
(E) 前期繰越損益金	412,099,537,865
(F) 解約差損益金	△ 2,316,995,976
(G) 追加信託差損益金	34,991,144,596
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	421,833,416,018
次期繰越損益金(H)	421,833,416,018

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ＦＴＳＥ®はthe London Stock Exchange Group companiesの商標であり、ライセンス契約に基づきＦＴＳＥ International Limitedが使用致します。また、ＦＴ－ＳＥ®、ＦＯＯＴＳＩＥ®、およびＦＴＳＥ 4 GOOD®もまたthe London Stock Exchange Group companiesの商標です。ＮＡＲＥＩＴ®はthe National Association of Real Estate Investment Trustsの商標であり、ＥＰＲＡ®はEuropean Public Real Estate Associationの商標ですが、いずれもライセンス契約に基づきＦＴＳＥ International Limitedが使用致します。ＦＴＳＥ ＮＡＲＥＩＴ®エクイティＲＥＩＴ・インデックスはＦＴＳＥによって計算されます。ＦＴＳＥ、Euronext N.V.、ＮＡＲＥＩＴおよびＥＰＲＡは、この商品に関する保証、承認、販売促進を一切行わず、いかなる場合においてもそれに関与することなく、一切の責務を負いません。当該インデックスの指数値や構成銘柄に関するすべての知的所有権は、ＦＴＳＥ、Euronext N.V.、ＮＡＲＥＩＴ、ＥＰＲＡに帰属します。ＦＴＳＥおよびそのライセンサーはいずれも、インデックスやレーティング、またその元データに関する瑕疵や不作為に対して一切の責務を負いません。また、ＦＴＳＥから書面による許可を得ることなく、ＦＴＳＥのデータを再配信することは許されておりません。